

## 8 仕様

品番	ESL-K102SL	ESL-K412SL
電源 ※充電電池の交換はできません。	ニッケル水素充電電池 3.6V 1200mAh	ニッケル水素充電電池 3.6V 1800mAh
点灯保持時間	約15秒(固定)	
点灯開始照度	約10lx以下	
保護等級	IP65 (耐塵形 / 防噴流形)	
光源 ※LEDの交換はできません。	白色LED	
全光束(満充電時)	強モード 約450lm 弱モード 約60lm	強モード 約900lm 弱モード 約100lm
使用周囲温度範囲	-20℃～+50℃ ※電池の特性上、周囲温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮できない場合があります。	
使用日数 ※1日10回点灯時 ※満充電時	強モード：30日(約300回)	弱モード：250日(約2500回)
外形寸法(約)	幅153×高さ105×奥行49(mm)(最大値)	幅298×高さ105×奥行48(mm)(最大値)
質量	約260g(充電電池含む)	約390g(充電電池含む)
付属品	取付ネジ2本(Φ4×24.8mm)、コンクリート用スリーブ2本(Φ6.1×30.5mm)	

※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。  
 ※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。  
 ※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

## 9 故障かなと思ったら

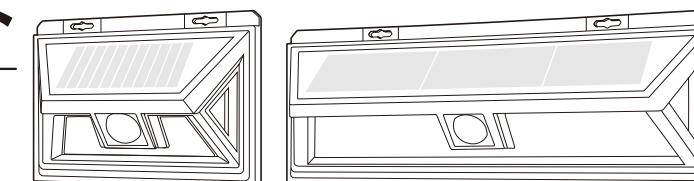
現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	充電電池の充電が不足している	点灯モード切替スイッチを切にして初期充電(晴天2日以上)をおこなってください。
	電源が切になっている。	点灯モード切替スイッチを強(または弱)にしてください。
	電源が正しく供給されていない。	点灯モード切替スイッチを切にして初期充電(晴天2日以上)をおこなってください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知範囲に対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取付ける。
	周囲が明るい。(夜でも周囲に他の照明器具がある)	他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差が小さい。 非常にゆっくりとした速度で検知範囲に侵入している。	取付場所を変更する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなる場合があります。
ライトが点灯したまま 消えない(センサーが 反応し続ける)	検知範囲が遮られている。 ※ガラスや壁、扉越しには人の動きを検知できません。	取付場所を変更する。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本体は約1.5mの高さに垂直に設置してください。
人がいないのに点灯する	何らかの物体にセンサーが反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知範囲の外に出る。 取付場所を変更する。
	検知範囲内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある (例) 風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知範囲内から取り除く。
	検知範囲が道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している 風や車両の通行等により、本品を取り付けている柱などが振動している	取付場所を変更する。 振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを 繰り返す) ライトが点いてもすぐに消える	本品の発光方向に光を反射する障害物がある ※反射した光がセンサーに当たって誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除くか、取付場所を変更する。
	充電電池の充電が不足している	点灯モード切替スイッチを切にして初期充電(晴天2日以上)をおこなってください。

190517A

# ELPA

## ソーラー発電式 LEDセンサーウォールライト

品番  
ESL-K102SL  
ESL-K412SL



取扱説明書  
保証書付

### お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なお読みください。

本品は強盗、盗難、空巢などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。  
 万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

### ご使用前に!

### 必ず初期充電をおこなってください

内蔵の充電電池は製造時に十分充電しておりますが、充電電池の特性上自然放電しますので、商品お買い上げ時には放電している場合があります。

**ご購入後は必ず晴天の日に2日間以上充電してから使用開始してください。**

**※充電は点灯モード切替スイッチを切にしておこなってください。**

- ①本体の点灯モード切替スイッチを切にします。※ライトが点灯しない状態で充電します。
- ②ソーラーパネル部に直射日光が長い時間当たる場所を選んで仮設置し、2日間以上充電してください。※季節、日照時間、天候、地域により異なります。

**点灯時間が短くなったり、点滅したり、点灯しなくなった場合には初期充電を行ってください。**

## 1 安全上のご注意

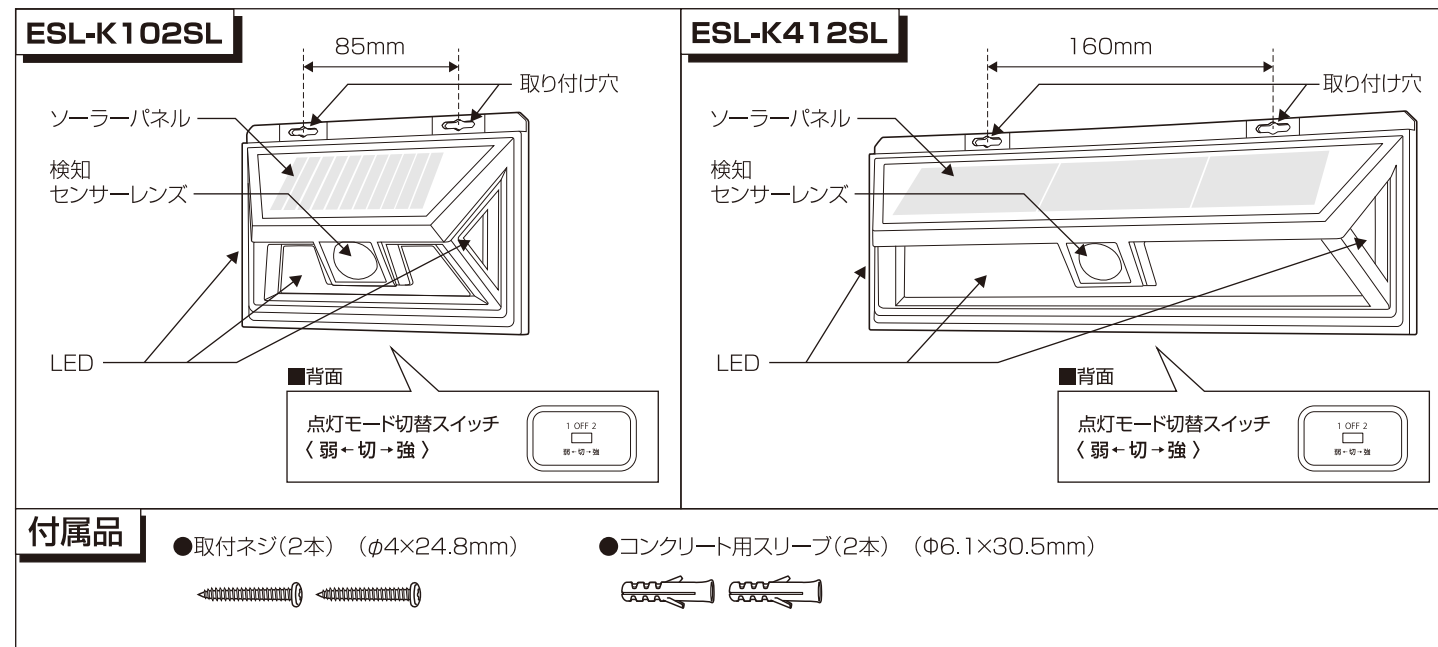
ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
 お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。		この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。
--	---	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取り付けは、この取扱説明書に従って確実に行ってください。</li> <li>●点灯中や消灯直後は、本体が熱くなっている場合がありますので触らないでください。</li> <li>●燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。</li> <li>●本品は完全防水ではありませんので水に浸したりしないでください。 ※防雨構造はIP65電気機械器具の保護等級に適合します。</li> <li>●正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたす原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。</li> <li>●視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。</li> <li>●分解・改造はしないでください。また、指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●充電電池の交換はできません。</li> <li>●ソーラーパネルが極端に汚れると充電能力が低下する事があります。定期的に点検、清掃をおこなってください。</li> <li>●曇りの日が続いた場合などは、再度初期充電が必要になる事があります。</li> <li>●極度の低温下では充電電池の充電能力が低下する場合があります。</li> <li>●温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けしないでください。</li> <li>●本品をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。</li> <li>●不安定な場所に取り付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。</li> </ul>

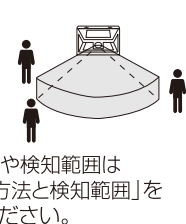
## 2 各部の名称と付属品



## 3 まず初めに

⚠ 設置を行う前に各機能が正しく動作するか、周囲が暗い状況で動作確認を行ってください。

①点灯モード切替スイッチを強(または弱)にします。  
ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約15秒間、強(または弱)に点灯します。  
この間ライトは点灯したままになりますので、検知範囲外に離れてお待ちください。



ご使用方法や検知範囲は  
⑤「ご使用方法と検知範囲」を  
参照してください。

②消灯後、検知範囲を横切るように歩き、ライトが全点灯する事を確認します。  
続いて検知範囲外へ移動すると約15秒後にライトが消灯する事を確認します。

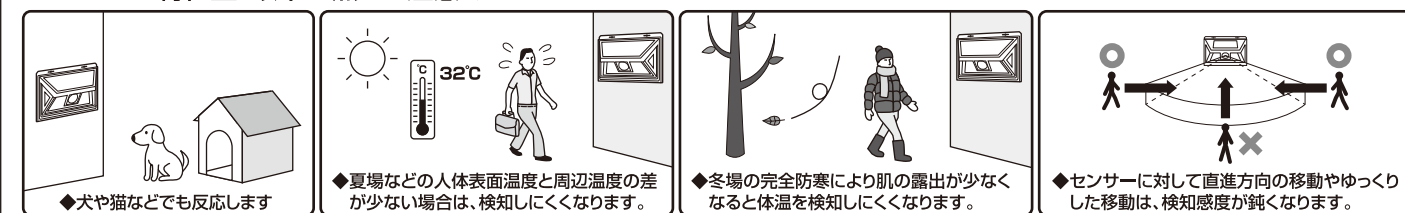
## 4 設置場所

⚠ 取り付ける前に、充電電池への初期充電および動作確認を必ずおこなってください。

**取り付け上のご注意** ※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。  
下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

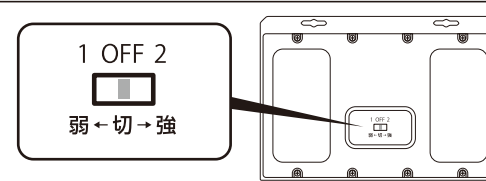


## 5 ご使用方法と検知範囲

**ご使用方法** 点灯モード切替スイッチを切替えます。

強：強モードで点灯します。  
弱：弱モードで点灯します。  
切：ライトは点灯しません。

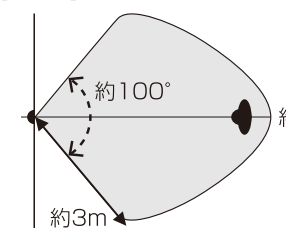
※壁に取り付けると点灯モードの切替えができませんので、  
取り付けの前にあらかじめ切替えを行ってください。



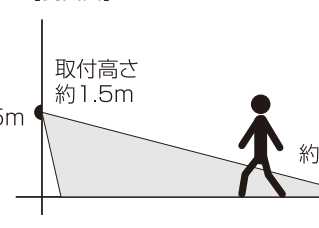
**検知範囲について** 検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。

気温：25℃ 湿度：50%

【平面図】 検知範囲を上から見た図



【側面図】 検知範囲を横から見た図



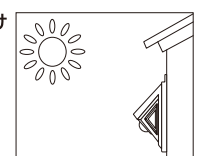
- 本品直下は検知できない場合があります。
- 検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
- 人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
- 人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
- センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。
- 以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。  
・風などでゆれる植物やカーテン等の近く  
・エアコン等の送風を受ける所  
・ガラスや壁越しの所  
・強い振動を受ける所  
・取付高さが3m以上の所  
・車の通る道路や人通りの多い所  
・電波の強い所

## 6 取付方法

⚠ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

本品は太陽光で発電します。  
日当たりが良い、最適な場所に取り付けてください。

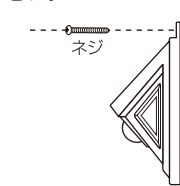
- 直射日光が長い時間当たる南向きの壁面など
- 樹木やビル影にならないところ
- 地面に対して垂直な壁



**取り付け方法** ※本品の設置(取り付け、取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他損害について、当社は一切責任を負いません。

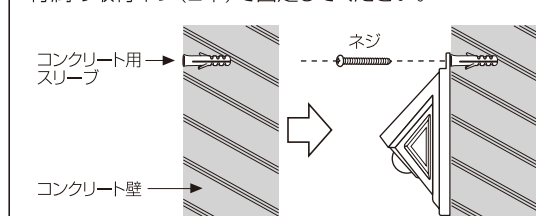
**ネジで取り付け**

木製の壁等に取り付ける場合は、付属の取付ネジ(2本)で取り付けください。



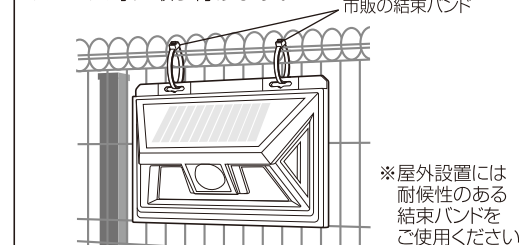
**コンクリート壁への取り付け**

あらかじめドリルで直径6.1mm、深さ30.5mmの穴を開けます。そこへ付属のコンクリート用スリーブ(2本)を打ち込んでから、付属の取付ネジ(2本)で固定してください。



**市販の結束バンドで取り付け**

取り付け穴に耐性の結束バンドを通し、金網やフェンス等に取り付けます。



## 7 廃棄時のお願い

- 本品にはニッケル水素充電電池を使用しています。ニッケル水素充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニッケル水素充電電池を取り出し、各自自治体の処理方法に従い、リサイクル協力店にお持ちください。

**充電電池の取扱い・分解について**

- 本品専用の充電電池です。本品以外に使用しないでください。
- 取り出した充電電池は充電しないでください。
- 火の中に捨てたり加熱しないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】
- 分解・修理・改造をしないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】
- 液漏れしたとき、液に触れないでください。目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の側など高温になる場所に放置しないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】
- +、-端子に金属などを接触させないでください。また、金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】

- 取り外したネジなどは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師に相談してください。

**ニッケル水素充電電池の取り出し方** ※廃棄する時以外は、絶対に分解しないでください。

- ①本品の点灯モード切替スイッチを切に、点灯しないことを確認します。  
※点灯確認は周囲が暗い部屋などで行ってください。
- ②プラスドライバーで本品背面のネジ(図の○部分)を外します。  
※取り外したネジなどは、乳幼児の手の届く所に置かないでください。
- ③本体を開けて充電電池を取り出し、充電電池にそれぞれ接続されている2本のリード線を各々1本ずつニッパーなどで切断し取り外します。
- ④取り外した充電電池は短絡防止のため、切断した2本のリード線先端を各々セロハンテープなどで覆います。

